

提供団体・引取団体への提供の仕組みの 開発と幅広い普及活動の推進により 全国の提供団体・フードバンク・引取団体の ハブを担うハロースのチャレンジ活動

令和4年2月

株式会社ハロース 代表取締役社長 佐藤 利行

目次

1. ハローズの概要
2. 商品管理室
3. フードバンク取組の沿革
4. 現状の提供状況
5. 今後の展望

1.1.ハローズの概要説明

株式会社 ハローズ

東証一部上場

資本金 35億3,119万円

従業員数 1,127名

単位:百万円

	実績	対前年
営業収益	151,943	112.84
営業利益	7,604	154.68
経常利益	7,582	142.73
当期純利益	5,498	155.14
一株あたり当期純利益(円)	276.84	154.42

31期連続増収 96店

1.2. ビジネスモデル

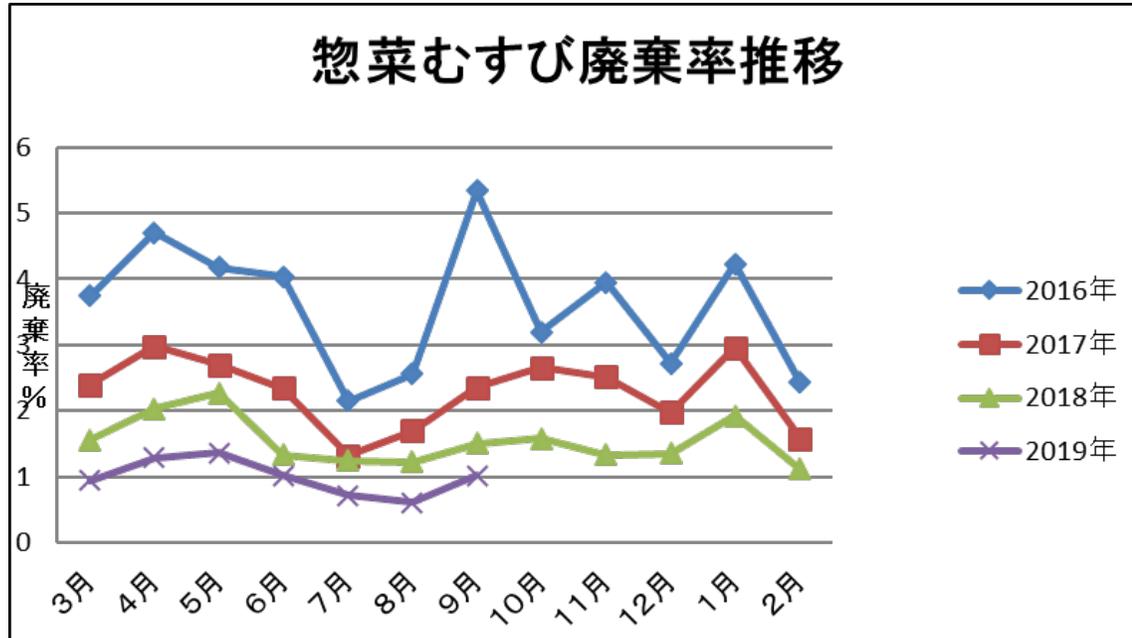
- 全店24時間営業
- 600坪のNSC
- 従業員の若さ
(平均年齢 32.6歳)
と標準店舗の新しさ
- 瀬戸内6県の出店エリア
- 広島県・岡山県・兵庫県・
愛媛県・香川県・徳島県



2.1 商品管理室の役割説明

- 商品管理室 品質管理室とは違うの？
廃棄率を下げるのが主な役割
- 廃棄率 $\text{廃棄率} = \text{廃棄金額} \div \text{売上金額}$
- 廃棄率を下げるには 廃棄金額を減らすか 売上金額を増やすか
- 廃棄率ダウンメリット 荒利益高が増加
- 5年間の廃棄率ダウン率 0.25% 0.77% → 0.52%
- ダウン額 4億
- 食品ロス削減量 400トン

2.2 廃棄削減実例の紹介



- むすびの販売
- 売上高 3年連続 前年比105%
- 廃棄率 **4%→1%**
- 販売個数 1店舗1日平均 350個 (日本一?)
- 廃棄率削減ポイント
1日2回納品(朝・夕)に切替
むすびの販売許容時間は27時間なので24時間切れ目なく商品提供

3.1 フードバンク取組の沿革

- FBとの取組開始事由 パート社員の一言
「廃棄商品は減らすけど、どうしても出てくる商品を捨てるのはもったいないので、何とかしてよ」
- そう言われても ???
- アメリカは ウォルマート関連の記事を検索 FBに提供を発見
 どうしているのか
- FB 地元にあるのか検索 ⇒FB岡山発見



- ビル・エマーソン
善きサマリア人法

1996年連邦法 (Bill Emerson Good Samaritan Food Donation Act of 1996)
善意での提供者は良品の提供の場合、
責任を取らなくて良い (以下、善きサマリア人法)

- FB岡山打ち合わせ

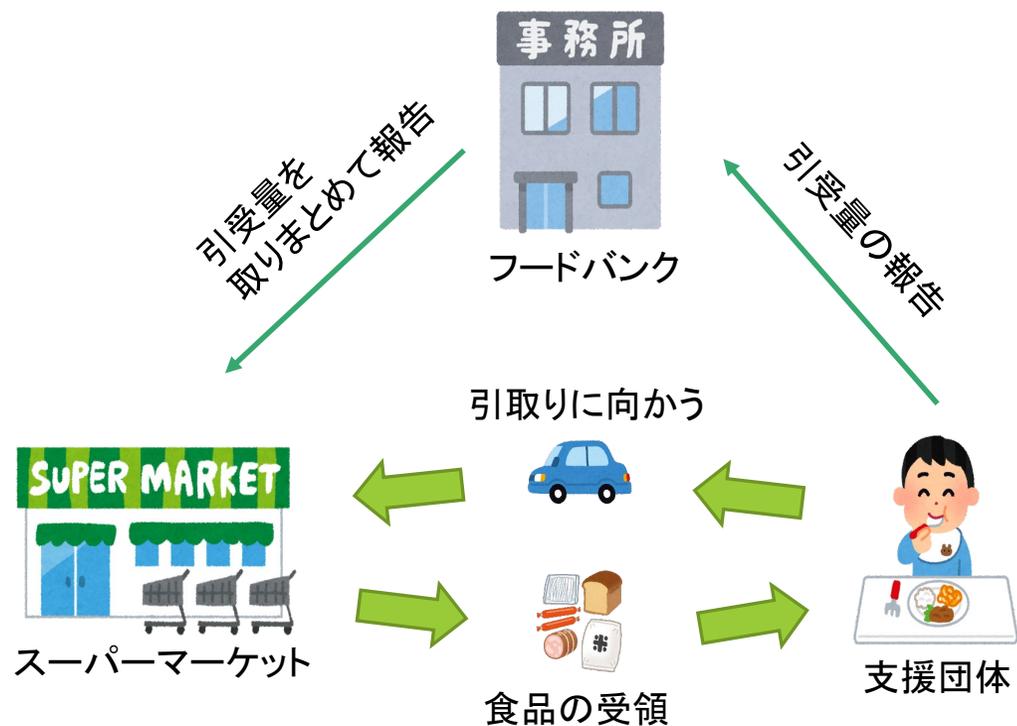
善きサマリア人法で提供可能か打ち合わせ。
OKの回答

- FB岡山提供
2015年3月

当初は店長会議で回収、10ケース
提供商品は 二重包装破れ・ペコ缶等
賞味期限の長い商品
FB岡山に社用車で配達



3.2 ハローズモデル誕生



- 2016年11月
- FB福山から各店舗の近隣の施設が直接店舗に行き引取る事が出来ないかと相談があり切替承諾
- 各FBにハローズモデルへの切替要請し順次切替

3.3 ハローズモデルのメリット

- 店舗へ近隣の施設が直接引取に行くので、当日消費期限の商品の提供が可能
- 青果・ハム・ソーセージ・デイリー・加工食品の消費期限・賞味期限ギリギリ商品
- これにより提供商品が飛躍的に拡大

FBのメリット

- 商品を引取に行き仕分けして各施設に配達していたので時間・労力・ガソリン代が節約 経費が大幅削減

ハローズモデルの欠点

- 引取店舗が1社1店舗だと引取商品に偏りが生じる
- 出来るだけ同業他社からの引取を増やすと偏りが減る



- 第6回食品産業もったいない大賞 「フードバンク提供促進の先進的な取組」
(2019年1月) 農林水産省食料産業局長賞受賞
- FB佐賀 2019年3月 設立基調講演
- 岡山県 2019年4月 「食品ロス削減検討会」委員委嘱
- 徳島県 2019年4月 「ICTを活用したフードバンクモデル検討会」
委員会委嘱

- 令和2年度岡山県備中県民局環境保全功労者表彰
(2020年12月)
- 令和2年度消費者庁食品ロス削減推進大賞
内閣府特命担当大臣賞 (2021年1月)



4.1 提供商品

1. 廃棄伝票起票済みで賞味期限・消費期限が残っている商品

- ハム・ソーセージ・デイリー・加工食品



2. 廃棄伝票起票済みで従業員の判断でまだ食べられる商品

- 青果



3. 消費期限時間の2時間前に撤去し2時間以内に食べられる商品

- 惣菜

4. メーカーベタ付け景品の余剰

- ベタ付け景品でお客様が持っていかなかった余剰品

5. 雑誌の付録

- 返品作業時に添付しなくてよい付録



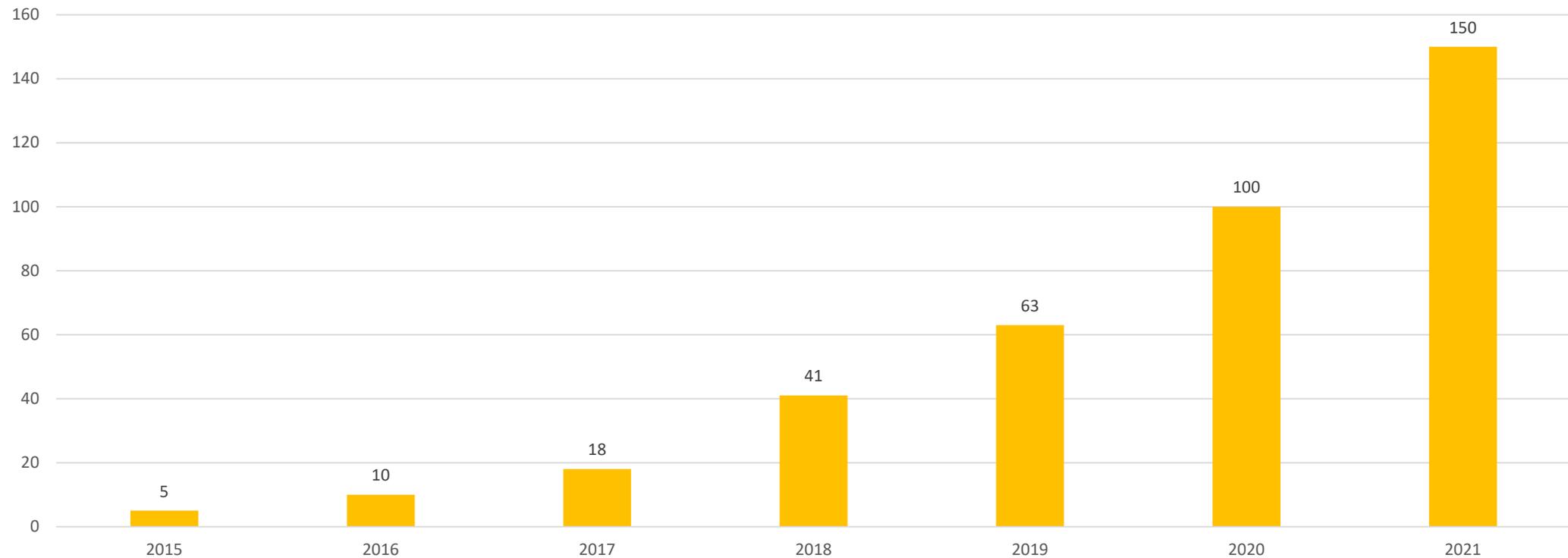
4.2 現状の提供商品量

1. 全店 96店
2. 毎月 2,000ケース 12トン
3. 元売価での推定金額 月額1,200万円



4.3 FBへの提供量推移

ハローズFB提供量の推移(単位:トン)



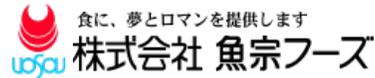
4.4 同業他社への協力依頼

提供会社



4.5 メーカー各社への協力依頼

●提供会社 アイウエオ順



岡 hands 延素麺(株)



(株) 小林製菓
広島県



4.6 提供施設

社会福祉協議会 ・ 自立生活支援センター ・ 更生保護施設

障害者就労支援A型・B型 ・ 子ども食堂 ・ DARC ・ MAC

児童養護施設 ・ 老人養護施設 ・ ホームレス支援団体

シングルマザーの会等 支援を必要とする施設



4.7 提供の実例

1. 神石高原町コミュニティパントリー

- 困窮者個人が引取れる施設を設置
- 福山市内のハローズ各店から町職員が週に1日集荷
- 冷凍庫・冷蔵庫のある部屋でナンバー錠管理



2. 総社市社会福祉協議会の無料塾

- 大学生のボランティアの協力で塾費用が出せない家庭の子どもに無料の塾開講
- 大学生が行く途中で山崎製パン岡山工場に寄り、無料の菓子パン受領
- 発酵ロットの関係で、必ず菓子パンの余剰が発生
- 子どもたちも喜び、塾の出席率も良くなった



3. 境港弓ヶ浜水産

- 養殖銀サケ出荷時にサイズの小さい魚体は廃棄
- FBとつとりが週2回引取
- 1回に銀サケ30尾(1尾600g~700g)
- 子ども食堂等へ



4. メーカー輸出不可能商品の提供

- コロナの関係で輸出不可能になった商品の提供
- 数量が12万個(6トン)あり 各FBと更生保護施設で手分けして引取
- 多くの引取団体に配荷

5. 更生保護施設等支援協議会

- ハローズ各店より(青果・日配品・ドライ品)の引取
- 刑務所出所者・保護観察者の社会復帰支援を行う更生保護施設へ提供
- 全国的に新しい取組

5.1 今後の展望

1. 絶対的な提供量の拡大

- 弊社は日本の食品主体の小売業順位で40番目
- 提供量で150トン 提供金額で1億5千万円
- 弊社より上位の企業様がハローズモデルで提供して頂ければ
- 単純換算で 6000トン 提供金額 60億円
- 売上規模はもっと大きいので
- 1万トン 100億円も 可能と思います。
- 上位各企業様の提供を切に希望します。



5.2 むすび

スーパーマーケットでは、品切れ防止の為一定程度の廃棄商品は必ず出ます。

廃棄伝票を起票すれば、会社としては簿価ゼロです。

簿価ゼロの商品は、いくら提供しても会社の業績には影響ありません。

逆に提供すればするほど、会社の評判は間違いなく上がります。

日本では「善きサマリア人法」はまだありませんが、

ハローズは7年間提供していて、1回もクレームはありません。

ぜひとも、御提供して頂くようお願いする次第であります。

ご清聴ありがとうございました。

